

2018年4月2日

各位

JX金属株式会社

## 入社式における社長訓示について

JX金属株式会社（社長：大井滋）の入社式における社長訓示の主旨を、次のとおりお知らせいたします。

### 【社長訓示（主旨）】

本日、社会人・職業人として栄えある第一歩をこのJX金属で歩み出し、我々の仲間となったことを大変うれしく思う。

当社には、110年以上にわたり、幾多の困難を乗り越え、社会と共生してきた素晴らしい歴史がある。「いかなる環境の変化にあっても柔軟に対応」し、「社会的使命を全うする」、これこそが当社の伝統であり、皆さんにはこのDNAをぜひ引き継いでもらいたい。

今後、事業環境の変化が一層厳しくなる中で、皆さんには、「当社のDNAの担い手としての自覚を持って、将来に向けて、会社のあるべき姿を描き、その実現のために困難にひるまずたゆまぬ創意工夫で粘り強くやり抜く人財」になってほしいという期待を込めて、次の4点を望みたい。

#### 1. プロとして真剣に仕事に向き合う

私たちは、一人ひとりがプロフェッショナルである。プロはどのような環境や仕事であっても、それと向き合い結果を出すために、自ら考え、自ら動き、自身を高める努力を怠ってはならない。仕事に対して逃げずに真正面から向き合うことにより、「こうしたい」という自分の意思や思いが生じ、新たな発想も生まれる。

#### 2. コミュニケーション力を磨く

プロである以上、専門分野の技術・知識を磨くのは当然であるが、一人ではできないことには限界があり、チームとして相互に補完し合いまた相乗効果により大きな効果が期待できる。チームとしての活動にはコミュニケーションが不可欠である。単なる情報伝達ではなく、相互に思いやる気持ちを持ってコミュニケーションすることで、チームの力を個の力の和以上にできる。

### 3. チャレンジする勇気を持ち、自ら提案する

現状のフローで仕事を進めるに至った経緯と理由を踏まえ、常に変化する状況と自分の仕事の目的や本質を捉えながら、チャレンジする勇気を持ち、時代に合った最善の方法を提案いただきたい。皆さん一人ひとりが前向きに自らの考えを発信するというそのアクションが、会社を変える第一歩となる。

### 4. グローバル人材として成長する

当社は、国内外に多くの拠点を有し、多くの海外の取引先との間でビジネスがある。言葉や文化が異なる人たちと、様々な環境で一緒に仕事をするための必要なスキルを身に付けてほしい。語学力は必須であるが、異文化理解のためには、「日本人としての教養」を身に付け、人として信頼され尊敬される存在になることが重要である。日頃から読書に親しみ、歴史や文化への造詣を深め、人間としての魅力を増すように努めてもらいたい。

最後に、当社成長の源泉である人材については、「人と組織の活性化」を重大なテーマと認識し、人材の多様化が進んでいく中で、労働生産性向上やフレキシブルな就労環境の実現、教育体系や人事諸制度の整備など様々な取り組みに着手している。私や経営陣は先頭に立ってこの変革をリードしていく。皆さんもこの取り組みの一員に加わり、成長と変革のマインドを持ち、日々研鑽に励んでほしい。

改めて、皆さんの入社を心より歓迎するとともに、皆さんが高い職業倫理観のもと、良き市民・企業人として、また誠実で信義を重んじる国際人として、たくましく成長されることを願う。

(ご参考) 2018年4月1日付 新入社員数

		新入社員数	
大学院・大学卒社員		42	(47)
(内訳)	事務系	14	(16)
	技術系	28	(31)
高等専門学校卒社員		7	(6)
高等学校卒社員		32	(31)
計		81	(84)

( ) 内は昨年度の実績

以上